

# 平成20年度事業計画

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

## 第1 基本方針

社団法人高知県森と緑の会は、平成8年3月に設立され、今まで緑の募金活動はもとより、県民が行う県内の森林整備や緑化の推進、あるいは国際緑化協力の各分野において、関係方面との協力体制の構築及び連携のもと、様々な事業活動を行ってきました。

そして今、地球温暖化防止に向けて、森林の果たす役割は益々重要になっていますが、本県の森林は荒廃が進み、これに伴い自然災害や野生鳥獣被害が多発し、一次産業や生態系、防災面等様々な面に深刻な影響を及ぼすようになってきています。このままでは健康で文化的な生活にとって欠くことのできない豊かな緑と水のある環境、生物多様性豊かな自然を将来世代に引き継ぐことが危ぶれます。当会の果たす役割は、今後ますます重要になってくるものと思われます。

平成20年度は、こうした背景を受けて、子どもから大人まで多くの県民が森林や緑化の大切さ、木の暖かさ優しさに目を向けていただけるよう、地域や学校等における緑化活動や木の文化に触れる機会の拡大、ボランティア活動の活性化を図り、当会本来の目的である「県民と一体になった森林づくり」が促進される環境整備に取り組むとともに、地域や学校等が行う緑化活動の支援、森林環境教育の実施、緑のサポーター等のボランティアリーダーの育成などに努めてまいります。

特に、緑の募金は、当会の主要事業であるとの認識のもと、その趣旨について普及啓発を図りながら募金活動を推進するとともに、その効果的な活用により県民の皆様の緑の募金に対するより一層の理解・協力が深まるよう、次の取り組みを進めてまいります。

- (1) 地域での募金活動に重点を置き、地域で集まった募金は地域での森林整備等に使ってもらい、緑の募金を身近に感じていただけるようにします。
- (2) 地域での募金活動のリーダー的な役割を担ってもらう「緑の募金推進員」の配置を進め、地区や支部と連携をしながら地域での募金活動を推進していきます。
- (3) 従来から取り組んできた森林環境教育を中心に緑の少年団活動や学校の緑化活動、学校林活動等を支援するとともに、学校やPTA等教育関係者に対して緑の募金法の理念や目的、制度の意義・役割を伝え、募金に対して理解と協力が得られるように努める。
- (4) 主要企業を始め県内の企業や団体等に当会の活動を紹介するとともに、森林環境保全の見地から緑の募金（企業・団体募金）への取り組みと、企業の社会貢献活動のサポートに努めます。

以上の基本方針に基づく事業を推進するため、事務局体制の充実と職員の業務能力の向上に努めるとともに、会員・賛助会員の維持・拡大、（社）国土緑化推進機構や高知県、民間等からの事業の導入により、森林整備や緑化活動等各種活動の一層の県民への定着化を図り、当会が本県における「森とみどりの情報発信基地」としての機能・役割を果たせるよう、努めてまいります。

## 第2 一般会計

### 1 緑化推進事業

#### (1) 緑化推進直接事業

- ア 緑づくり関係行事の実施及び行事への参加・協力
- イ 森林ボランティア等の支援
- ウ 学校等での森林環境教育の支援
- エ 普及啓発、広報・PR活動及び表彰などの実施
- オ 四国四県が持ち回りで行っている「四国山の日」のイベントが今年は当県での開催であるため、四国森林管理局、県、関係団体等で作っている実行委員会の一員として実施する。

#### (2) 国土緑化推進機構委託事業

##### ○ 事務委託

(社) 国土緑化推進機構が公募する「先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業」に対して、募集や進達事務を行う。

#### (3) 国土緑化推進機構等公募事業

(社) 国土緑化推進機構や企業、環境団体等が公募する事業に対して、厳しい予算計画が続く当会にとって、事業費が見込め、実施する価値のある事業に関しては、積極的に申請する。(例: MOTTAINAI キッズ植林プロジェクト、中央緑の募金公募事業等)

#### (4) 支部活動（活性化事業）

支部活動の活性化を図るために、支部の事務費や森林整備等の事業に要する経費を支出する。

#### (5) 地区基盤整備事業

地区森と緑の会の事務局を、県林業事務所から他の団体に移管する場合、運営や募金活動等の基盤整備に要する経費を初年度には 60 千円支出する。

また、県以外に事務局のある安芸、伊野、須崎の 3ヶ所の地区森と緑の会については、通信費等経費が必要であるため、年間 50 千円を支出することとする。

#### (6) 緑の募金推進体制整備

当会の活動や緑の募金活動に協力してくれる団体等の強化を図る。

## 2 緑と水の森林基金事業（森林基金事業）

### （1）緑と水の会ネットワーク推進事業（前年度繰越）

県内8ヶ所に結成された緑と水の会の活動を促進することを目的として、実施する。

### （2）地域で活動できる森林ボランティア養成事業（前年度繰越）

県内の森林ボランティアを対象に、それぞれが住む「地域のリーダー」として活動してもらうため、講義及び実技に関する講座を実施する。

### （3）平成20年度緑と水の森林基金事業

例年どおり、地区・支部主催もしくは共催で開催することで募集し、効果的な事業を行う。次の事業は、昨年度に引き続き実施する。

#### ○ 若者発土佐材販売促進普及啓発企画事業

高知大学生が主体となって企画・運営した木造建築や林業、木材について学ぶ6泊7日の宿泊型セミナー。

現在、木造建築を学ぶ場は少なく、山に入り林業を学ぶ機会も少ない。このことに問題意識を持った高知大学生が中心となって実行委員会を結成し、高知県北部の林業の名産地嶺北で実際に森に入り林業を学ぶと同時に、高知県を代表する現役の設計士から木造建築を学ぶセミナーを、全国学生に募集をし、実施する。

## 3 県補助事業

平成19年度に引き続き、「こうち山の日」の制定趣旨に基づき、森林環境税を活用して実施する「こうち山の日推進事業」と「山の一日先生派遣事業」の2つの補助事業について、当会が間接補助事業者として県の補助金の交付を受けて、事務（募集、審査、検査、広報等）を実施する。

## 4 ウェディングフォレスト運営事業

三翠園から受託している「ウェディングフォレスト」運営事業。

今年度9回目を迎え、2人の結婚を記念した記念樹を植樹する。これまで8回にわたり植樹を行ったいの町ほどのふれあいの森から、新たな植樹地で開催し、参加者とともに植樹と記念看板の設置等の交流事業を行う。なお、これまでに植えたほどの森は、管理を継続していく。

## 5 高知県森林学会事務局事業（単年度）

第59回森林学会関西支部、日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会が、今年は高知県で開催される（10月予定）。県、日本森林学会関西支部（高知大学等）等が運営委員会を結成して実施するが、日常の事務局としての業務を受託して行う。

### 第3 緑の募金特別会計

緑の募金の趣旨を県民に広く普及浸透させていくために、平成20年度も昨年度に引き続き「知ってもらうこと」、「集めること」、「使うこと」の三位一体の取組みにより、森林の整備や緑化の大切さの意識を育むことに重点をおいた事業展開を図っていく。こうした取り組みを通じて「緑の募金」の趣旨の県民への浸透を図り、募金していただいた方には「募金が役立っている」ということを実感してもらい、募金をお願いする方には「募金をしたい」という思いがわくような取り組みを推進する。

#### (1) 「知ってもらうこと」

様々な機会を活用して緑の募金法の趣旨や緑の募金の仕組み、募金の使途等について知っていただく取り組みを進めることで、緑の募金の普及啓発に努めていく。

#### (2) 「集めること」

地区・支部での募金活動の更なる強化を図るとともに、新たな協力企業や学校募金、家庭募金の開拓と合わせて、日常の消費行動の中で募金に協力していただける方法を検討する。また、緑の募金公募事業の採用者に対して、事業実施の際に募金の趣旨を説明していただき、募金への協力を呼びかけていただくよう要請する。

#### (3) 「使うこと」

県民や地域住民、事業への参加者にメリットを感じていただき、緑の募金への理解と協力が得られ、募金増に効果があるような事業を重点的に実施するよう努める。

## 1 緑の募金活動の推進

#### (1) 募金期間

春期：平成20年3月1日～5月31日

秋期：平成20年9月1日～10月31日

平成19年から5月4日に「みどりの日」が変更され、それに伴い「みどりの月間」が、毎年4月15日から5月14日に設けられたので、この1ヶ月を強調月間として取り組みをしていく。

#### (2) 募金目標額（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

目標額 17,000千円（14,125千円）

本部 6,000千円（4,027千円）

地区 4,000千円（3,348千円）

支部 7,000千円（6,750千円）

※（ ）内は平成19年実績

#### (3) 募金に関する普及啓発、広報活動（知ってもらうこと）

##### ① 公募事業等における緑の募金の宣伝等

- ・緑の募金公募事業の採用者に対して、事業実施の際に緑の募金の助成を受けていることを積極的に宣伝していただくよう強く要請する。

## ② 広報・PR活動

- ・会報（年4回発行）やホームページ、市町村の広報誌等を活用して、地域での募金事業や公募事業、直営事業などの活動を県民に周知する。
- ・地区・支部における募金期間中ののぼり旗の掲示や街頭募金の実施を要請する。
- ・公募事業の実績を取りまとめた報告集を作成し、関係方面に配布する。
- ・報道機関に対して会報等の資料を送付するとともに、イベント等広報をして欲しい情報を積極的に提供する。
- ・県、国、業界団体等の機関紙・広報誌等への緑の募金や緑の募金活動強化期間の記事の掲載等をお願いする。
- ・30・40代の女性をターゲットにした高知新聞折り込みフリーペーパー「K+」へ子どもを持つ世代の関心を集められるように広告する。

## ③ 普及啓発活動

- ・地区森と緑の会、市町村支部に対して、緑の募金への理解と協力、取り組みの強化を要請する。  
※ 支部長（=首長）、緑の募金所管課、教育委員会を訪問して要請する。
- ・行政機関や業界団体等に対して緑の募金について説明させていただく機会を設けていただくよう積極的に働きかける。
- ・県議会・市町村議会に対して募金期間中の「緑の羽根」の着用を要請する。
- ・報道関係者に対して募金期間中の「緑の羽根」の着用を要請する。
- ・県（森林部）、国（四国森林管理局）に対して説明の機会の提供、緑の募金の趣旨、募金への協力を呼びかけていただく等、積極的なバックアップを要請する。
- ・その他、緑の募金の普及啓発に有効と思われる取り組みを積極的に行う。

## ④ 研修等の実施

- ・県林業事務所や地区森と緑の会、市町村支部の担当者を対象に交流・研修事業を実施する。

## ⑤ 感謝状の贈呈等

- ・高額寄附者に対しては、感謝状贈呈基準に基づいて、感謝状を贈呈する。
- ・特に高額の寄附をいただいた者（団体）の名前の掲載を高知新聞に依頼する。
- ・寄附の際に同意のあった者（団体）の名前を当会ホームページに公表する。

# （4）募金活動・募金推進体制の整備強化（集めること）

## ① 緑化関係行事における募金活動

- ・支部や会員団体等が実施する各種イベントを活用した募金活動を積極的に行う。

## ② 緑の募金推進員の整備

- ・地域での緑化活動、募金活動のリーダーとなる「緑の募金推進員」の養成に努める。

## ③ ボランティア団体との協力

- ・ボランティア等による緑の募金活動が推進できる体制の整備に努める。

#### ④ 地区・支部等との連携強化

- ・支部に対して家庭募金、職場募金への取り組みの強化を要請するとともに、イベント等などを活用した募金活動を積極的に展開するよう要請する（募金額ゼロの支部がないようにする）。
- ・地区森と緑の会に対して、県林業事務所と連携・協力して募金活動に取り組んでいただくよう要請する。
- ・県森林部に対して、林業事務所や市町村支部の募金活動の強化のためのバックアップを要請する。

#### ⑤ 県内の企業・団体への協力依頼

- ・協力企業との良好な関係の維持強化をはかるとともに、新たな協力企業の積極的な開拓に努める。
- ・ホテル、旅館、レストラン等、新たな「緑の募金箱」の設置場所の積極的な開拓に努める。

#### ⑥ 学校募金への取り組みの強化

- ・支部に対して、教育委員会と連携して学校募金に取り組んでいただくよう要請するとともに、学校に対してはみどりの日や募金活動強化月間等を活用した学校募金の取り組みをお願いする。（環境学習の中で緑の募金への協力を呼びかける等）

#### ⑦ 合目的的計画的募金活動の実施

- ・地区森と緑の会や支部、学校関係等の関係機関や団体に対して、使うこととセットにした合目的的かつ計画的な募金活動をしていただくよう働きかける。  
(例:支部事業における野生鳥獣被害対策等)

### (5) 活動・人材育成の支援、広報・普及啓発活動等（使うこと）

#### ① 地域での活動の支援

- ・ボランティアや地域住民による里山の整備（植樹、伐採、樹木の手入れ等）や身近な公園の整備（植樹、樹木の手入れ、草刈、施肥等）等の緑化環境の整備、森林の整備等を支援する。
- ・巨樹、古木等の調査や樹木の手入れ、遊歩道の整備等を支援する。
- ・森林や緑化の大切さを意識させる講演や山や木や水に親しむ活動を支援する。

#### ② 学校等での活動の支援

- ・学校での緑化活動や森林環境教育等の環境教育を支援する。
- ・学校林活動や学校林の整備に協力するボランティア団体等の活動を支援する。
- ・保育園、幼稚園への木のおもちゃの貸出し等木に親しむ機会を提供する。

#### ③ 人材育成の支援

- ・緑の少年団の育成や少年隊の活動を支援する。
- ・青少年を対象とする木工教室の開催を支援する。
- ・森林インストラクターやボランティアリーダーの養成活動を支援する。

#### ④ 募金協力団体活性化の支援

- ・募金の成果と森と緑を守り育てる活動の普及浸透の着実な向上を図るため、緑の少

年団や緑の募金協力団体など緑の募金活動を支えてもらっている団体に対して、集めていただいた募金の中から、募金活動経費や森林整備等の活動費を「募金活動推進費」として交付し、募金推進体制の強化を図る。

⑤ 広報・普及啓発活動等の実施

- ・会報や広報誌、実績報告集の作成費
- ・地区、市町村の訪問
- ・募金資材の購入
- ・事務局費他

## 2 緑の募金事業の展開

(1) 交付金事業（公募事業） 予算額 5, 634千円

① 一般公募事業（案）（4, 334千円）

県内の森林の整備や緑化の推進に関する事業に対して、交付金による助成事業を実施する。実施にあたっては、県内から広く事業の公募を行い、助成対象事業を審査のうえ選定した。

- ・森林の整備 9団体 9件
  - ・緑化の推進 15団体 15件
- 計 24団体 24件

② 地区森と緑の会・森と緑の会市町村支部実施事業（公募事業）（1, 300千円）

市町村支部や地区森と緑の会の行う緑化活動や森林整備に対し、費用負担を行い、地域に根ざした普及啓発活動を支援していく。

- ・第Ⅰ期 2団体 2件 295千円
- ・第Ⅱ期 1, 005千円

(2) 緑の少年団育成 予算額 900千円

次代を担う子ども達が森や自然に親しみ、地域のリーダー的な存在となる「緑の少年団」の活動を支援する。3年目となるが、引き続き高知県子ども会連合会と連携をとるとともに、地域を単位とする少年団活動を推進するためモデル的となる少年団に支援を行う（450千円）。

また、平成18・19年度と夏休みに行った徳島県との交流行事（吉野川の上・下流の子ども達の交流をとおして森や水の大切さを知る）を、一般会計「緑と水の森林基金事業」としてではなく、「緑の募金」を活用した事業として開催する（450千円）。

(3) 直営事業について 予算額 2, 400千円

① 地域森林整備事業（300千円）

「ふれあいの森づくり事業」や「地域里山林整備支援事業」で取り組んできた地域での一般参加型の里山林整備や植樹等の森づくり事業を行う。

「ふれあいの2000年の森（旧本川村葛籠谷黒滝山）」については、平成20年

度で協定の契約期間がきれるため、その継続の是非を検証する。

**② 木のおもちゃにふれあう事業 (250千円)**

小さい頃から自然の素材でできた「木」のおもちゃに触れ合うことで、木や緑や森に関心をもってもらうとともに豊かな心を養っていくことを目的として、ローテーションを組んで、木のおもちゃセットを保育園や幼稚園に3ヶ月間貸し出している事業。平成19年11月までは3セットであったが、11月に3セットを追加して計6セットになったので、効率よく貸し出しを行うことができた。

平成20年5月で、第1次募集をした44園に対しての貸し出しが終了するため、5月に第2次募集を実施し、継続して貸し出しを行う。

**③ 都市緑化整備事業 (600千円)**

レジ袋を削減して、緑の募金へ協力いただいている量販店の周辺の人の目につきやすい公園等を整備し、その作業をとおして、緑の大切さの普及と、地球温暖化防止、ゴミの削減（レジ袋等を削減する）、消費者等の環境意識の向上を図る。量販店にも委員となっていただいている「緑のパートナーシップ委員会」にも参加を呼びかけ、身近な行動から緑をふやす意識の普及を行う。（600千円のうち、500千円は中央公募事業に申請する予定。）

**④ 樹木医セミナー事業 (450千円)**

日本樹木医会高知県支部と高知県緑サポーター会が協力して行っている「樹木医セミナー」で、平成19年度は、直営事業として「高知市」と「幡多地区」の2ヶ所で実施した（なお、平成16～18年の3回は公募事業として実施した）。

6回の講座を受講することで「緑サポーター」の資格を得ることができ、6年間樹木医と活動すると樹木医試験を受ける資格も取得できる。この講座は人気が高く、緑サポーターとして、県内全域に緑の募金や緑化活動に対する協力体制をつくるためにも、平成19年度に引き続き実施する。なお、今期は「高知市」での開催のみとする。

企画及び当日の運営は高知県緑サポーター会に400千円で依頼し、連絡・準備等は当会が行う。

**⑤ 緑化推進普及事業 (800千円 ※新規事業)**

緑の大切さの理解を深める行事やシンポジウム等、県民が木や緑に親しむ行事を年に3回ほど開催する。

平成19年度に要望が多かった苗木の配布（大量でなく地域で植える10～100本の要望）については、緑化を通じた地域の活性化の観点から、市町村支部や高知県等を通して申請された取り組みについて苗木を配布し、緑の募金に対する理解と協力が深まるように努める。

## 平成20年度緑の募金公募事業 事業概要一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	事業費	申請額	交付額
<b>【森林の整備】</b>									
1	安芸	妙見山森林復元事業	(新)共生森の会	安芸市穴内スス原「妙見山」(実施場所は市有林)	安芸市「妙見山」の森林を復元し、市民の森林体験活動の場としての整備を進める。雑草等の除草作業を行い、栗及び柚の苗木約400本の植樹を会員を中心に公募も行う。将来的には、妙見山を自然にかえながら、市民が自然にふれあう場所として提供していく。	安芸市	499,254	499,000	130,000
2	中央東	ふれあい21世紀の森づくり事業(継続)	情報交流館ネットワーク	香美市物部町にカリ石国有林と別府山国有林、香北町西川	森・川・海の連携による流域再生の取り組み・連携を更に強固なものにするため、海に関わる人々(香南漁業協同組合)と流域住民と関連団体が一体となって間伐と植樹を行う。活動場所は、大きく3ヶ所。	香美市	631,000	500,000	350,000
3	中央東	千本松原次世代継承プロジェクト	千本松原の松を守り育てる住民の会	高知市千松公園	種崎地区千本松原の再生・活性化を目指すため、従来のクロマツの木炭散布や草刈りなどの保育だけでなく、三里小学校児童への環境学習会や、地域での黒松育樹勉強会を実施する。	高知市	146,170	122,000	98,000
4	中央東	おおなろ野外活動の森づくり(継続)	おおなろ野外活動の森づくり実行委員会	高知市おおなろの森	地域住民を中心に身近な環境の改善運動に取り組み、大人から子どもまでが自由におおなろの森の中を散策できるよう、下刈りや間伐の実施、児童への自然の良さの普及活動を行う。	高知市	84,800	84,000	76,000
5	中央東	総合福祉施設ヘリオス裏山歩道開設・環境整備事業	社会福祉法人ふるさと会	総合福祉施設ヘリオス裏山	地元住民や病院患者の健康増進や交流を図るための森づくりや環境整備を行う。歩道開設し、展望台を設けて森と親しめる環境をつくる。	高知市	2,113,000	500,000	400,000
6	中央東	鏡桜の里づくり事業	高知県緑サポーター会	高知市鏡地区	平成18年度から3年事業で高知桜ライオンズクラブと共催で、この事業を実施してきた。鏡地区の吉原公民館に至る県道や公民館周辺に桜やモミジ等を植栽し、四季の変化に富む里作りから交流人口の拡大・地域の活性化を図るとともに、緑の大切さを広く訴える。	高知市	730,000	400,000	320,000
7	嶺北	行川流域森林整備事業	白髪山・行川観光保勝会	本山町白髪山登山口から約9kmまでの基幹道路から行川までの森林および河畔林	整備の遅れた基幹道路から河畔林までの雑木林を間伐・枝打ち等の手入れ及び植林をすることにより、河川景観を確保し、森林と河川の組み合わされた空間の魅力を引き出す。	本山町	270,700	230,000	184,000
8	須崎	四万十流域間伐推進事業	四万十樵塾	四万十町旧大正町	四万十川流域において、除間伐等の森林整備が遅延し、荒廃した森林について、適正な間伐施行を推進する。19年3月、市ノ又ふれあいの森16haを四万十森林管理署と協定を締結。	四万十町	345,980	176,000	140,000
9	幡多	高森山(四万十市トンボ公園奥)整備事業	幡多緑と水の会	四万十市トンボ公園西高森山	四万十市トンボ公園のシンボルともいえる高森山を整備することによって、都市住民と森林との結びつけを促進助長すること。年2回実施。	黒潮町	36,087	29,487	30,000
9団体9件 (申請は10団体10件……1団体1件は平成19年度に実施)							4,856,991	2,540,487	1,728,000

## 【緑化の推進】

1	中央東	「高知子ども森林インストラクター養成講座」(第8期)/H15と18と19)	高知子ども森林インストラクター養成講座運営委員会	香美市(おもに情報交流館)	子ども達が森林に理解を深め、学校や地域の森林学習においてリーダーに養成することを目的とし、年15回(定期講座及び番外編(キャンプを含む))の森林環境・生態に関するものと木の有効利用に関するもので、体験型の講座とその前後に座学を行う。	香美市	705,000	475,000	300,000
2	中央東	地球環境時代の森林の保全・再生	(新)四万十・流域圏学会	①高知県森林総合センター②物部川及び源流域の森林(上垂生川)	第8回四万十・流域圏学会・学術研究発表会(2007)における年次特別企画セッションの主題として、地球環境時代の森林の保全・再生をテーマとした市民公開セミナーの開催と物部川流域の森林の視察をとおし、若い世代も交え河川環境と森林の関係を考え、関わり方や方策を認識(議論)をする。	香美市	540,250	419,000	239,000

## 平成20年度緑の募金公募事業 事業概要一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	事業費	申請額	交付額
3	中央東	緑豊かな地域づくりを通じて、山や緑の大切さへの認識を深めていこう！	(新)松本地区自治会	①香美市物部町「紫翠園」②③南国市金地	香美市土佐山田町松本地区住民(子ども達の参加がポイント)が、山間部に住む人々(香美市物部町庄谷相の塩の道香美市保存会や地元の人々)と交流することや、松本地区「お大師堂」の公園整備(材料を山から伐り出す)を共同で作業することによって、山のことを知り山や緑の大切さを認識する。	香美市	478,780	408,000	350,000
4	中央東	自然にふれあうネイチャークラフト教室開催事業	ネイチャークラフト研究会	香美市甫喜ヶ峰森林公園	自然の素材を使った季節感のあるオリジナルネイチャークラフト作品を制作することとおし、自然の大切さを感じ、五感や生きる力を育む。7・8・10月の3回各30名を対象に実施。	高知市	165,690	124,000	100,000
5	中央東	夏休み親子森林体験教室(継続)	高知県林業改良普及協会	香美市甫喜ヶ峰森林公園	夏休みに親子で、森林の役割・植物採取・標本作成・樹木名の学習、木とのふれあい体験(木工等)を甫喜ヶ峰森林公園で実施する。自然に親しみながら、樹木等について理解を深め、豊かな情操と森林愛護の思想を培う。	高知市	159,000	114,000	75,000
6	中央東	朝倉中学校里山づくり(公募は4年目)	高知市立朝倉中学校PTA	高知市立朝倉中学校	広葉樹(花、実、紅葉)を植樹し、学校周辺に多様な生物が生息できる環境づくり。PTA、生徒、地域の協同植樹活動を通して森林環境を考える場とする。里山づくり活動をとおして地域を大切にする心を育てる。5年事業。	高知市	230,000	230,000	170,000
7	中央東	秦山の竹林と友達になろう会	秦山の竹林と友達になろう会	高知市中秦泉寺字秦山並びに周辺の竹林	竹の生育や活用の方法を学びながら、「ふるさと秦山」を取り巻く文化的かつ環境的な役割について話し合い、環境の保全や青少年の健全な育成に努める。高知市中秦泉寺字秦山並びに周辺の竹林。	高知市	101,000	76,000	60,000
8	中央東	第7回秦里山まつり	秦里山まつり実行委員会	高知市秦山	高知市里山条例により第1号指定された『秦山』で、地域住民が里山に親しみ、子どもから高齢者まで竹細工や竹遊具の手作り体験。竹炭づくり実習などを行い、森と自然を大切にする意識の高揚を図ることを目的とする。	高知市	260,000	160,000	90,000
9	中央東	市街地でも体験できる児童への緑化普及啓発事業	高知緑と水の会	高知市高知城公園	子ども達が「森・樹・水・動植物・自然との関わり」について身近(高知城公園)で気軽に体験できる森林学習のシステムを作り、緑化推進の普及に努める。①興味を深め体験型学習を促すパンフレットの作成。②パンフレットを利用した現地学習。	高知市	510,000	460,000	200,000
10	嶺北	吉野地域美化事業	(新)吉野ふれあい花壇	本山町吉野	地域の女性グループとして主体となり、吉野地区の一斉清掃や道路に面する山際の雑木除去作業、草引き作業及び地区内の道路沿いの除草作業等、春季及び秋季における鑑賞花の植栽を行う。	本山町	178,600	168,000	80,000
11	中央西	バイオ資源で地球を救おう！(四国でのてっぺんからMOTTAINAIを発信！)	土佐の森・救援隊	いの町本川長沢	次世代の環境保全を担うべき小学生に、もったいない運動を身近に楽しみつつ理解してもらうため、間伐後の小枝を生かした木工体験を行うと共に、バイオ資源の利活用に関する課題について学んでもらうためプランツ等見学・視察を行う。	いの町	500,000	500,000	206,000
12	中央西	自然体験－木で遊ぶ	横倉山自然の森博物館友の会	越知町立桐見川小学校(休校中)	休校中の山の学校で、地域住民を交えて、飯盒炊飯や動植物の観察などを行い、地域の自然を教わりながら、鳥の巣箱や椅子、食事時の箸や器などを作成し、地域との交流を通して、緑の大切さを学んでもらい今後の森と水に関わる行事へと繋いでいく。	越知町	174,224	174,000	174,000
13	須崎	平成20年度四万十川環境問題を考える若武者育成プロジェクト	(新)WZF若武者絶対増やす実行委員会	高岡郡四万十町市ノ又原生林、幡多郡大月町柏島	中学生や一般市民を対象に森林フィールドワークや森林保全に関するレクチャーを行うことで森林の役割や森林が川や海に及ぼす影響を体感してもらい、森と川と海のつながりについて理解を深め、参加者に森林保全の意識を高めてもらう。	四万十町	887,705	371,000	222,000
14	須崎	森と水のふれあい教室	母なる大地四万十の郷	高岡郡(幡東、四万十中央、大正町、窪川町、須崎地区)	母なる大地四万十の郷、水と森を考える事業の一環として、一般の多くの人々に木とのふれあいをもってもらい、木のもつ良さ、森林のもつ重要や役割を理解してもらうための苗木の無料配布・木工教室・木製プランター等の寄贈を行う。	四万十町	855,000	500,000	210,000

## 平成20年度緑の募金公募事業 事業概要一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	事業費	申請額	交付額
15	幡多	つつじの植樹	(新)土佐清水ライオンズクラブ	土佐清水市総合公園内	当クラブの事業である「小学生の為のセミナー」にて、市内の児童にツツジの植樹作業を体験してもらい、緑地公園として憩いの場として広く利用してもらえるよう整備を行う。	土佐清水市	187,500	187,500	130,000
16	中央東	市民参加による体験を主体とする、工石山自然休養林(県民の森・市民の森)の森づくり事業	県民の森工石山を楽しみながら良くする会	高知市工石山自然休養林	ボランティアと提携し広く県民に参加を呼びかけ、工石山自然休養林内の環境整備、自然観察などを行い、工石山の持つ森の機能など森林の大切さを学ぶ。	高知市	107,280	89,000	不採用(長期に渡つて採用のため)
17	中央東	平成19年度樹木医セミナー「樹木の診断・治療に関する知識」	高知県緑サポーター会	高知市、横倉山、須崎市～土佐町	平成10年度より取り組んでいる「樹木医セミナー」は、樹木医の知識と技術を活かして、広く環境保全に寄与することを目的としている。受講修了者が申請すれば緑サポーターとして登録され、樹木医の補佐業務に関わることができる。	香美市	650,000	500,000	直営事業として今期も実施
15団体15件 (申請は17団体17件)							6,690,029	4,955,500	2,606,000

### 【地区・支部実施事業】

1	中央東	香美市体験林業教室 [第Ⅰ期]	(社)高知県森と緑の会 香美市支部	市内小中学校6校、市有林、国有林、民有林	香美市の小・中学生を対象に、間伐(植樹)体験、木竹加工品製作等を通じ、森林と林業に関心を持たせるとともに、郷土の森への愛着を深めさせ、地域林業の振興を図るため体験林業教室を実施。森林教室6回、体験林業教室6回。	中央東	201,000	200,000	200,000
2	嶺北	汗見川河畔林整備事業 [第Ⅰ期]	(社)高知県森と緑の会 本山町支部	本山町汗見川流域の河畔林	渓谷美に優れ、春は川岸のキシツツジ等県内外から親しまれている汗見川の河畔林整備(針葉樹から広葉樹への樹種転換)を行い、上下流域の交流の場を確保すること。	嶺北	100,000	95,000	95,000
[第Ⅰ期] 2団体2件 (申請は3団体3件…1団体1件は平成19年度に実施)							301,000	295,000	295,000
[第Ⅱ期] 実施期間:8月1日～12月31日									1,005,000
地区・支部実施事業(公募事業) 合 計									1,300,000

公募事業	合 計	11,547,020	7,495,987	5,634,000
------	-----	------------	-----------	-----------

### 《参考》

下表の3事業については、平成20年度公募事業として申請があり採用されたが、平成20年3月内に事業が完了したため、平成19年度予算で対応した。

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	事業費	申請額	交付額
19年度	須崎	【森林の整備】ふるさとの森づくり事業	高知葉山会	高岡郡津野町北山地区(風車足下)	ふるさと葉山のために、会員が主体となって、風力発電・林道開設に伴い発生した残土で埋め立て造成された津野町北山地区の土地へ植栽を行い、「ふるさと葉山の森づくり」を行う。	高知市	700,000	500,000	420,000
19年度	国際協力	【国際協力】安徽省日中友好の森づくり事業	安徽日中友好の森づくりネットワーク	中国安徽省	毎年2名安徽省林業庁から受け入れている研修生と当NWが実施主体となり、年1回3月下旬に植樹を行っている。今年は1万本を植樹予定。「日中友好の森づくり」と中国との国際交流を進めている。	香美市	3,530,000	500,000	350,000
19年度	安芸	【地区・支部実施事業】ふるさと海岸植樹帯整備事業 [第Ⅰ期]	(社)高知県森と緑の会 奈半利町支部	奈半利町内海岸(国道55線より南の海岸沿い。奈半利ふるさと海岸)	奈半利ふるさと海岸の散歩道へ椿の植樹を行い、地域住民・高齢者の憩いの場をつくる。	安芸	200,000	200,000	160,000
合 計							4,430,000	1,200,000	930,000